

【第133号】
昭和43年10月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤 善次郎
編集人 鈴木 美一
印刷所 国見印刷所

2億の大台

42年度の決算をみる

九月定例議会で承認された昭和四十二年決算書を見ていただきました。
ほう大な資料でその全貌を知ることはなかなか容易ではありませんので、くわ
しいことは議員の皆さんからお聞き願うことにして、紙面の許す範囲でお知ら
せいたします。(鈴木)

一四〇〇万の剰余金！

まず決算額を見ると、
歳入 二一四、六六八千円
前年比増四三、〇五二千円
(二五・一%)
歳出 二〇〇、四四七千円
前年比増三六、六一一十千円
(二二・三%)
剰余金 一四、〇二一十千円
(二・七%)
となっており、健全財政をつ
らぬにいたるようです。尚こ
の剰余金のうち八〇〇万円は
財政調整積立金として、只今
問題となっている町民福祉社

きめこまかな施策

次に二億円の大金を使って
何をしたか、町民として最も
関心を深めるところでしよう
センター・公立病院などの負
担金を出したり、町民の要望
として果樹園や桑園の基盤整
に際したきめこまかな施策が
備わったり、四十二年六月お
よび九月の台風被災地の災害
各部門にわたって挙げてみま
し

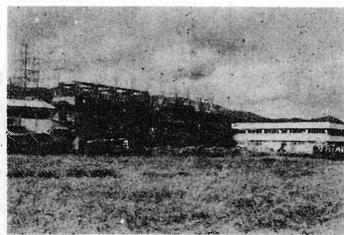
昭和42年度一般会計歳入歳出決算

Table with columns for '歳入' (Revenue) and '歳出' (Expenditure), including sub-categories like '地方交付税', '町税', '総務費', etc., with '本年度決算額', '前年度決算額', '比較', and '百分率'.

議会だより

昭和42年度決算など認定さる

九月の定例議会は、九月二十五日午
前九時三十分召集
され会期を二十六
日までの二日間と
し、次の議案を審
議原案と取り可決
確定閉会した。
◎町道路の廃止に
ついて
路線が新設され
たため、曲り部
分が必要になら
なくなったので、廃
止であり、鶴町
よう。(金額単位千円)
1. 総務部門
観月台公園鉄柵建設等
四四三
庁舎車庫
六七〇
小坂駐在所新築二〇六一
(内補助六〇〇)
乗用車購入一、二〇〇
労働金庫預託 五〇〇
2. 民生部門
季節保育所運営費六〇四
(内補助八八)
内童遊び場設置 一三〇
(内補助 五〇)
3. 衛生部門
ごみ運搬車一、六〇〇
(内起債一、〇〇〇)
公立病院建設事業負担金
二七五〇
4. 農林部門
鳥取さいかち沢頭首工
九六五
(内補助四五〇)
太田沼余水吐復旧二九四

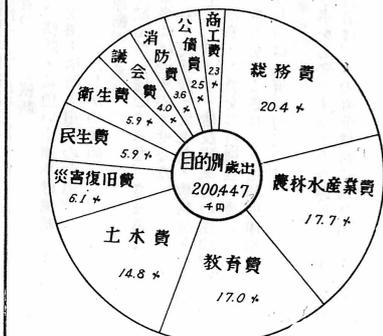
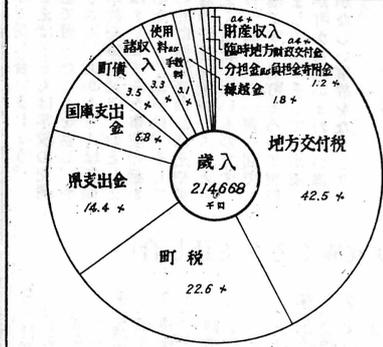


滝山原農道 三五一
光明寺農道 九七一
(内補助 六二五)
大木戸農道 二九〇
光明寺農道 一六〇
林農道 七〇七
(内補助 四〇)
光明寺林道 一、二二四
(内補助 五五三)

5. 商工部門
商工振興補助 八〇〇
街路灯建設助成 三〇〇
6. 土木部門
北線橋工事費 二二〇
水門橋梁 二八〇
矢木橋梁 三六〇
弁天橋梁 一一〇
県道改良工事負担金五か所 一、六六〇
渡舟建造費 一四八
水路工事費 一八八
土木機械運協協賛会負担金 六六六
公営住宅建設事業 一三、〇一五
(内補助 七、五九〇)



7. 消防部門
鉄骨火の見二基 一八六
常備部協議会負担金九六六
防火水そう設置補助一〇二
塔載用自動車 四八八
消防ポンプ三台 七五〇
8. 教育部門
プール自動工事 七三三
側溝、自動車置場等二七二
給食受入工事 六五五
公民館屋外便所 二〇〇
給食センター協議会負担金 八四七
經常費 八五七
9. 災害復旧部門
農林施設19か所一、〇七四
(内補助 九、三六九)
(起債 一、二〇〇)
公共土木3か所一、一七〇
(内補助 六六六)
(起債 三〇〇)



お悔み申し上げます
(九月中に亡くなられた方 敬称略)
死亡日 氏名 年齢 住所
9/3 遠藤 弥治 72 具田 番城内十二の二
15 佐藤 三郎 75 石母田 下原十五
11 佐藤 三郎 75 泉田 平林七
5 佐藤 光一 78 森山 西国見三十四
21 熊坂 政十 75 内容 東脇十五

十月二十七日(日) みんなそろう町民体育大会へ... 午前九時半から藤田小学校で

